

8 / 28 (月) の発表

報道発表資料の配付日時 8月28日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	キノコによる食中毒の防止について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>野や山で採られるキノコには、食用のものと区別が難しい毒のあるキノコがあり、毎年のように道内で食中毒が発生しています。</p> <p>保健所では、キノコによる食中毒防止のため、知らないキノコは「採らない、食べない、人にあげない」の3つに注意するよう周知を図っています。</p> <p>また、「野や山のきのこハンドブック」を保健所で配布するとともに、ホームページ上でもキノコによる食中毒防止のための注意喚起を行っていますので、道民の皆様幅広く周知をお願いします。</p>		
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・キノコによる食中毒に注意しましょう！ ・野や山のきのこハンドブック 		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 (場所)		
	同時レク		

担当 (連絡先)	保健環境部保健行政室生活衛生課長 木下 TEL ダイヤルイン 0162-33-3705 (内線3700)
-------------	---

キノコによる食中毒に注意しましょう！

キノコ食中毒予防のポイント

- 知らないきのこは、
「採らない」、「食べない」、「人にあげない」
- 種類ごとに区別して持ち帰り、調理する前にもう一度確認する。
- 誤った言い伝えを信じない。
(縦に割けるキノコは食べられる、虫が食べたキノコは食べられる、など)

食べて体に異常を感じたときは

- 速やかに医療機関で診察を受ける。
(食べ残しがある場合は持参しましょう。)

料理するとき、食べるときには

- 傷んだものは食べない。
- 消化が悪いので、食べ過ぎない。
- 十分に加熱し、生の状態では食べない。

※道立保健所では、キノコの正しい情報を取りまとめた「きのこハンドブック」を配布しておりますので、是非ご活用下さい。



テングタケ
道内で食中毒の発生事例が多いキノコ。
傘に白いイボがある。
また、柄には白いつばがあり、根元は球根状に膨らんでいる。

参 考

道内におけるキノコによる食中毒事例
(平成30(2018)年から令和4(2022)年まで)

発生年月	発生場所	患者数	原因
令和元年6月	札幌市	1	テングタケ(推定)
令和2年6月	富良野市	3	不明
令和2年10月	美瑛町	1	テングタケ
令和2年10月	北斗市	2	ツキヨタケ
令和3年10月	別海町	1	不明

道内において食中毒の原因となったキノコの種類
(平成元(1989)年から令和4年まで)

キノコの種類	件数	患者数	死者
テングタケ ※ベニテングタケ含む	33	51	0
クサウラベニタケ	18	106	0
ツキヨタケ	18	87	0
イッポンシメジ	6	16	0
タマゴタケモドキ	2	5	3
その他	40	85	0
計	118	350	3

【参考URL】

- 北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課(「きのこハンドブック」ダウンロード可能)
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kse/sho/kiso/kinoko15.htm>
- 厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html